

6

2025年度
支援対象者のご紹介

荒牧 順子 (あらまき じゅんこ)

株式会社ドアーズ [代表取締役] / 一般社団法人SAGA子どもホスピス [代表理事] /
医療専門職によるダブルケアラー支援団体 DC NETWORK [副代表]
https://lit.link/junko_aramaki

▶ **プロフィール**

医療的ケア児と家族の声を丁寧に受けとめ、制度では届きにくい支援を地域で実装してきた看護職・起業家。SAGA子どもホスピスの設立や多職種連携モデルの構築を通じて、子どもと家族が安心して暮らせる環境づくりを進めている。

▶ **支援を通じて成し遂げたいこと**

制度や人手の限界に左右されず、どの家庭も必要な支援に確実にたどり着ける地域基盤を整え、孤立を生まない循環型の支援モデルを広げていく。

▶ **メッセージ**

皆さまの温かな支えが、子どもと家族の「安心して暮らせる未来」を確かなものにしていきます。いただいた力を、地域の実践として着実に形にまいります。



小田原 のどか (おだわら のどか)

横浜国立大学 プレカリアートユニオン

▶ **プロフィール**

彫刻家、評論家。芸術学博士。版元代表とともに、横浜国立大学専任講師、表現の現場調査団メンバー、プレカリアートユニオン副執行委員長を務め、理論と実践の両輪で活動する。国立西洋美術館、東京都写真美術館の企画展に招聘。単著に『近代を彫刻／超克する』『モニュメント原論』など。

▶ **支援を通じて成し遂げたいこと**

理論と実践を横断する複合的活動をいっそう推し進め、実践面では、自身が関わる労働組合を通じて、美術業界で性暴力被害をうけた女性たちの支援や、助け合いのネットワークづくりを進めたいと思っています。

▶ **メッセージ**

こうした支援の取り組みにおいては、「成果」や「効果」が即時的にはあらわれないこともあると思います。「長い目」をもって支援をしてくださるみなさんに、心よりお礼申し上げます。



田中 柚希 (たなか ゆき)

東京科学大学 [博士後期課程] / 理化学研究所

<https://www.linkedin.com/in/yuki-tanaka-yuzu/>

▶ **プロフィール**

東京科学大学大学院 博士後期課程 ゲノム機能情報分野および理化学研究所 TRIP-AGIS オミクス計算モデル開発チームに所属し、生物情報学と発生生物学の研究に取り組む。女性の健康課題解決に向け、研究から事業化まで一貫して取り組み、科学的根拠に基づくフェムテックの社会実装を目指している。

▶ **支援を通じて成し遂げたいこと**

身体的性差をテクノロジーで乗り越え、やりたいことを諦めずに自己実現できる社会を目指す。その一環として、ヒト母乳成分を再現し、より良い乳児用ミルクの開発・事業化を進め、乳児の健康と育児に伴う負担の軽減に貢献する。

▶ **メッセージ**

ご支援に心より感謝申し上げます。社会に良い影響をもたらすリーダーへと大成できるよう、常に学び続け、社会貢献を果たしてまいります。



永野 ひろ子 (ながの ひろこ)

▶ プロフィール

元豊島区議(5期)・行政書士。所属議会で初めて二児を出産し、様々な困難を経験したことから、全国超党派の議員に呼びかけ出産議員ネットワーク等を設立。政治への門戸を開き、家庭と議員活動の両立のための法規・環境整備に尽力。これらの活動が多数のマスコミに取上げられ、マニフェスト大賞グランプリ等受賞多数。

▶ 支援を通じて成し遂げたいこと

全国の女性議員・ローカルリーダーが安心して活動できるよう、相談・研修・データ分析を基に、実効性ある両立支援を行う。出産・子育てと働くことに関する個人の経験を社会のスキルに変え、社会をアップデートする。

▶ メッセージ

ご支援を基に、政治や意思決定の場に参画する女性を増やすことに尽力します。政治・意思決定の場の景色が変わることは社会を動かすレバレッジポイントになると考えます。感謝と責任を胸に、前進いたします。



春成・カディージャ (はるなり かでいーじゃ)

Harmony Sisters Network [代表]

<https://www.harmonysistersnetwork.org>

▶ プロフィール

私はバングラデシュで無国籍のロヒンギヤとして生まれ、日本で学び直し、青山学院大学と早稲田大学院を修了しました。現在は Harmony Sisters Network を立ち上げ、女性と子どもたちの教育支援やエンパワーメントに取り組んでいます。困難を力に変え、誰もが学び挑戦できる未来を目指しています。

▶ 支援を通じて成し遂げたいこと

移民・難民女性が孤立せず、安心して相談し学べる環境を整え、次世代の女性リーダーを育成したい。教育と支援を通じて、女性が自らの力で社会に参加できる未来を実現します。

▶ メッセージ

難民当事者のリーダーが十分に活躍できない環境の中、皆さまのご支援は大きな励みであり、前へ進む力になります。心より感謝申し上げます。



山本 蓮 (やまもと れん)

地方女子プロジェクト [代表]

<https://chihoujoshi.studio.site>

▶ プロフィール

1999年山梨県生まれ。地方の女性流出の本音を発信する「地方女子プロジェクト」主宰。内閣官房地域・職場働き方改革推進会議有識者、内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員。NHKクローズアップ現代出演。2025年3月に当時の石破総理と「若者・女性に選ばれる地方」をテーマに車座を開催。

▶ 支援を通じて成し遂げたいこと

地方に暮らす女性たちが声を上げ自ら社会に反映させていく輪を広げるため、インタビュー調査の拡大を軸に、地域ネットワークの構築とインタビューア育成に取り組みたいです。

▶ メッセージ

この度はご支援いただきありがとうございます。先人が声を上げて得た権利を維持・拡張できるよう、地方の女性が生きづらさを抱えず暮らせる社会づくりに努めます。